

ホナガツナミソウ

Scutellaria laeteviolacea Koidz. var. *maekawae* (H.Hara) H.Hara
シソ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】－

選定理由

森林伐採等による生育環境の消失や悪化により減少している。

分布

本州（福島県以西）に分布。県内では嶺南地方の一部で確認されている。

種の特徴

山地のやや湿った林内に生える多年草。茎は直立し高さ7～20 cm、下向きに曲がった白毛がある。葉は茎の下部に集まる傾向があり、上にいくにしたがって小さくなり、1～3 cmの葉柄がある。葉は長さ1.5～7 cm、幅1.4～4 cm。6月、2～8 cmの花序に紫色の花が付く。

生育を脅かす要因

森林伐採等による生育環境の消失や悪化のほか、産地が限られていることによる。

参考文献 佐竹義輔ほか（1981）、福井県自然保護課編（2004）
福井県植物研究会（1998）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
						○											

スズメノハコベ

Microcarpaea minima (J.Koenig ex Retz.) Merr.
オオバコ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】－

選定理由

湿地の開発等による生育環境の消失や悪化により減少している。

分布

本州（関東地方以西）～九州に分布。県内では嶺南地方の一部で確認されている。

種の特徴

湿地に生える小さな一年草。茎は細長く長さ5～20 cm、多くの枝にわかれて匍匐し、節ごとに細い根と小さな葉を出す。葉は対生し柄がなく、長さ2～5 mm、幅1～2 mm。7～10月頃、葉腋に小さな花を付ける。花は淡紅色で長さ2 mm。

生育を脅かす要因

湿地開発等による生育環境の消失や悪化のほか、産地が限られていることによる。

参考文献 佐竹義輔ほか（1981）、福井県自然保護課編（2004）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○															

ヨツバシオガマ

Pedicularis chamissonis Steven var. *japonica* (Miq.) Maxim.
ハマウツボ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：－

【環境省カテゴリー】－

選定理由

分布が局限し、生育地、個体数とも極めて少ない。これまで1山域にしか確認されていない。

分布

北海道～本州（中部地方以北）の高山帯に生育している。県内では奥越地方に自生する。

種の特徴

高山帯の草地に生える多年生草本。茎は根元から2～3本枝に分かれて直立する。葉が茎の節ごとに4つずつ輪生する。花期は7～8月で、薄紫色の太くて短い花弁が数段に重なり輪生する。

生育を脅かす要因

産地の局限と温暖化や自然遷移の進行が生育を脅かす要因となる。

参考文献 佐竹義輔ほか（1981）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	